

労働

賃金

平成28年の常用労働者の1人平均月間現金給与総額（事業所規模30人以上の事業所）は34万1,886円でした。

産業別にみると、電気・ガス・熱供給・水道業が63万8,036円で最も高く、次いで建設業の43万1,319円、製造業の42万1,324円の順となっており、宿泊業、飲食サービス業が15万1,055円で最も低くなっています。

図44 産業別1人平均月間現金給与総額(平成28年)

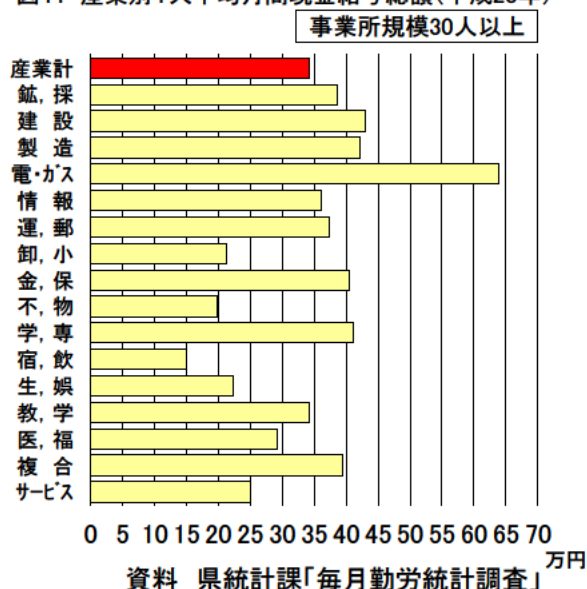
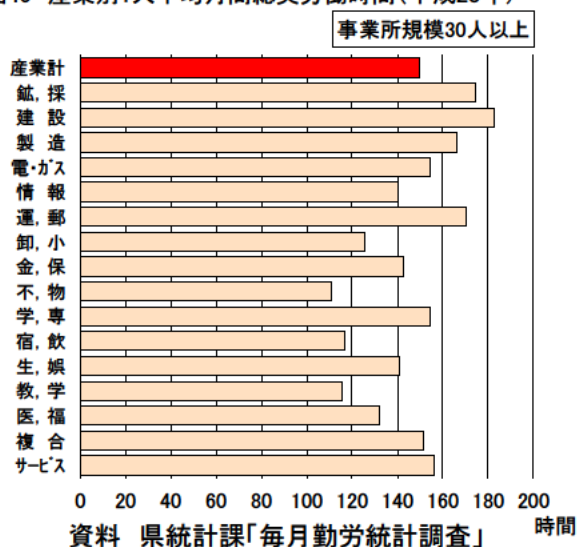


図45 産業別1人平均月間総実労働時間(平成28年)



労働時間数

平成28年の常用労働者の1人平均月間総実労働時間数（事業所規模30人以上の事業所）は149.9時間でした。

産業別にみると、建設業が183.0時間で最も長く、次いで鉱業、採石業、砂利採取業の174.2時間、運輸業、郵便業の170.6時間の順になっており、不動産業、物品賃貸業が111.1時間で最も短くなっています。

雇用

平成28年度の年度平均月間有効求人数は3万5,520人で、前年度に比べ525人（1.5%）増加し、年度平均月間有効求職者数は2万4,568人で、1,965人（7.4%）減少しました。

有効求人数を有効求職者数で割った有効求人倍率は1.45倍で、前年度に比べ0.13ポイント上昇しました。

図46 雇用動向の推移

